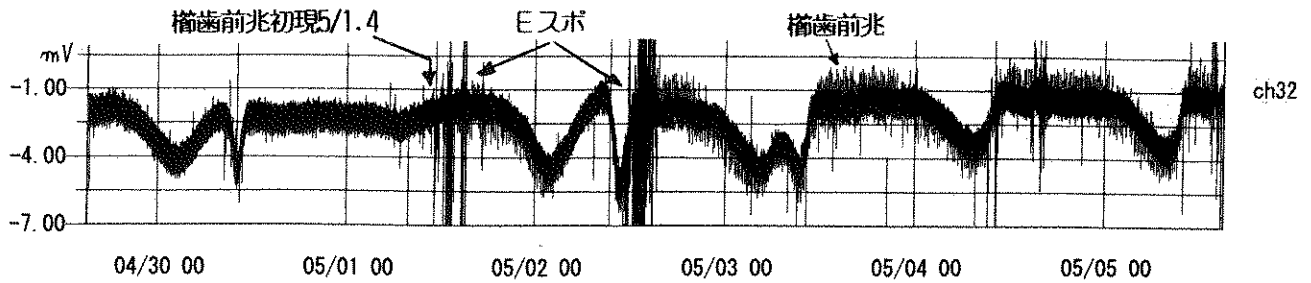


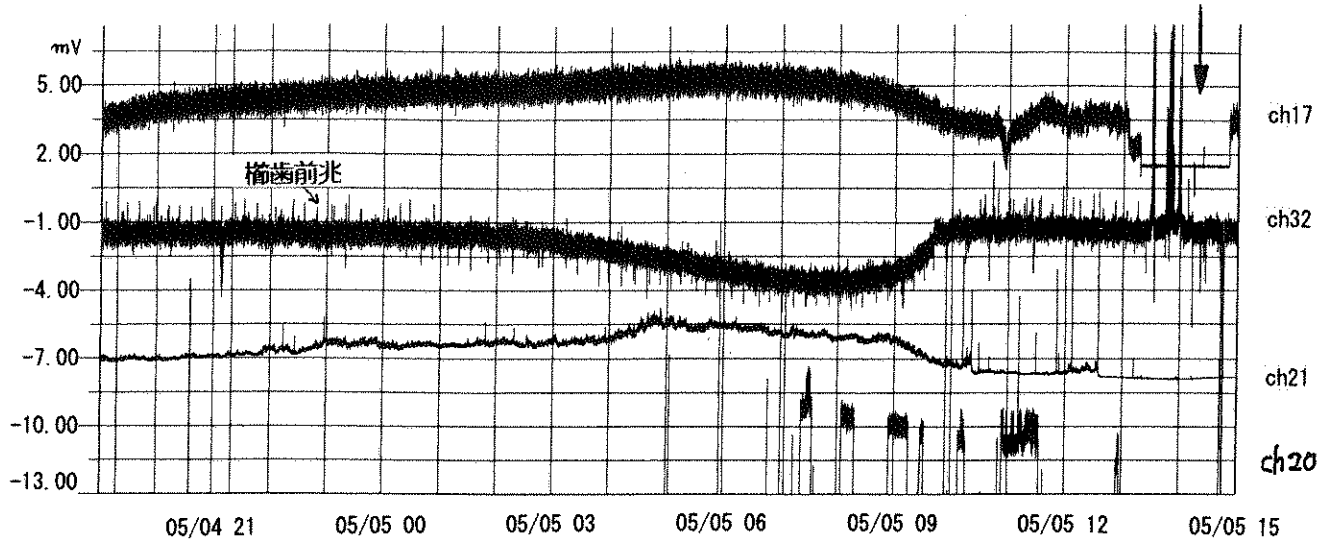
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254  
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 5/5.6 ピークの可能性→5/6 の可能性否定  
5/1.4 初現・5/5.6 ピーク 認識が正しい場合→5/13±の可能性有



5/5.6極大可能性



No.1778長期継続特殊前兆の続報現況報告です。

前情報では、CH21以外の前兆の動向から5/5-5/6 を示すことが示唆されました。但しCH21特異前兆のみ継続しており、5/6±発生に対しては調和していませんでした。本日CH21が静穏化すれば、誤差範囲である5/7 の可能性も考えられました。しかし、上波形のとおり、本日5/5 昼前にCH20に特異前兆が短時間出現し、静穏化していたCH17に糸状特異が出現、CH21も糸状特異出現。これらからピークの可能性が認識できます。上波形のとおりCH32に5/1 昼前より櫛歯前兆が出現開始。これを初現としますと、5/13の可能性有。5/6-7 の可能性は否定可能。5/11に前兆終息するか続報。

※ 5/6以降にピークが観測された場合は修正します。

◆推定領域：右図 点線領域=大枠推定  
太線領域内=可能性考え易い  
(ある程度火山に近い領域の可能性有)

※影響局誤認の場合は福島領域等東北領域の可能性となるが、辻褄が合わない前兆有。右図領域可能性が考え易い

◆推定規模：M7.8±0.5

◆推定時期：可能性①=5月13日±1  
(但し5月11日中に前兆終息の場合)  
可能性②=実際の前兆終息確認後推定  
(※5/12夜時点で前兆継続の場合は再考)

◇推定地震種：陸域地殻地震 震源浅い

◇推定発生時刻：午前9時±1時間  
(又は午後6時±3時間)

